

- 修了生 松本 由紀夫さん
- 人材開発部 部長 山屋 幸広さん

これからの長い人生を考えて、 ゼロからの新鮮なスタートを切りました。

サラリーマン時代から頭の片隅にあった人々の安全・安心を守る警備の仕事。それまでに積み重ねた経験を敢えて捨て、晴れ晴れとしたセカンドキャリアに取り組んでいます。

●平成28年度55歳以上の方のための就職支援講習「警備スタッフ(旧:パーキングサービススタッフ)」コース修了生
施設警備員 松本 由紀夫さん

再就職しようとした理由は何でしたか。

事務の仕事をして37年間勤めて定年退職しました。退職時にひと息入れましたが、社会に貢献できるような仕事に就きたいというのが理由です。

55歳以上の方のための就職支援講習に参加したきっかけを教えてください。

サラリーマン時代に警備の方にずいぶんお世話になったので関心を持っていました。退職後は自分が安全を守る側になってお返しができないかということが頭の片隅にあり、東京しごとセンターに相談に行った時、「事務の仕事だけに絞って考える必要はないのではないかと。『警備スタッフ』の講習が直近で開催されるので受けてみませんか」という提案をしていただいたんです。

講習会の感想や印象をお聞かせいただけますか。

テキストだけでなく講習が受けられるのは非常にありがたいことだと思いました。講習は分かりやすく丁寧でした。警備会社の方の話は中身が濃く、説得力がありましたね。講師の中には再就職して警備員をされている方もいらっしゃいましたが、生き生きとしてい



やりがいはいかがですか。

非常に大事な仕事だと思いますので、やりがいや充実感は感じます。警察署、消防署などでいろいろな人が日夜頑張っておられますが、私がもしこの歳になってそうした仕事に参加できるとしたら、警備会社ということになります。微力ですが、役に立てればと思っています。実際に働いてみて、ますます大事な

て、充実した仕事をされているんだなあと感じました。

以前とのギャップは感じましたか。

職種は何であれ、働くなら別の世界を経験してみたいと思いました。ですからギャップのようなものは感じませんでした。

とても前向きでいらっしゃいますね。

事務系であれば経験上、なじめるのは早いとは思っていましたが、でも選歴を過ぎてもこの先の人生はありますので、年齢に関係なくこれまでの経験もあまり通用しないゼロからのスタートを切ってみてもいいのではないかと考えました。初心に帰って頭を下げるところから始めようと。

実際に働いてみた感想はいかがですか。

仕事の意義は大きく深いものだと思っています。人の生命、財産、施設一帯など、警備の対象は多数ありますが、安全・安心は誰かが守っていかねばならない仕事です。今度は自分がその一端について、少しでも社会貢献できればいいなと考えています。

私のセカンドキャリアの作り方



仕事だなと実感しています。

一日の仕事の流れはどのようになっていますか。

私は、施設警備という仕事ですが、現場によって時間帯や内容もさまざま、ひとつのパターンとして説明することは難しいです。

仕事で大切なこと、心がけていることは何でしょうか。

自分なりの使命感を持っていることが基本だと思います。集中力、注意力、緊張感が欠かせませんが、何が起きても対応できるような柔軟性も求められます。つねにアンテナを高く張っていることも大事だと思います。新聞に目を通してニュースを追い、世の中の動きを把握しています。

就職してよかったですか。

はい。大変さや厳しさもありますが、それはどんな仕事でもいえることですね。私は経験したことのない新しい世界で社会人1年生になった気持ちですが、いい経験となっています。

警備の仕事に就きたいと考えているシニアの方にメッセージをお願いします。

まず警備の役割を認識していただくことですが、外出すれば警備員の姿を一人も見ない日はないと思います。仕事に関心をお持ちでしたら、働く姿を見ていただきたいなと思います。東京しごとセンターやハローワークへ行って相談してはいかがでしょうか。就職するしないは別にして、いろいろな講習が用意されていますので、積極的に利用するといいと思います。

シニアの力が役に立っています！

人間的な深みや懐の深さ。 シニアの強みは 人間関係にも生きています。

警備の仕事に必要なのは、確かな情報を得られる能力とプロの自覚。シニアの方の柔軟な対応力がこれからの警備業界に必要です。

■株式会社トスネット首都圏
人材開発部 部長 山屋 幸広さん



トスネット首都圏さんの業務、人数等を教えてください。

仙台に本社を置く株式会社トスネットを親会社に、首都圏エリアで警備業を営んでいる会社です。主に施設警備を業務としていますが、防犯カメラなどの物品販売やAEDも扱っています。イベント警備も行っており、昨年末からはリムジンバスの旅客対応、派遣業も行っています。東京の他に営業所が7か所あり、従業員数は約530名です。そのうち55歳以上の方は30%くらいいらっしゃると思います。

シニア層の雇用は積極的に進んでいますか。

はい。これからは重要なポジションになってくると思います。この業界では働き盛りの30代、40代が手薄です。必然的にシニアの方たちの雇用が増えていくというのが現実ですし、今後も積極的に雇用したいと思っています。むしろ、そちらに特化した方が、いい人材が集まりやすいのではないかと考えています。

女性の雇用はいかがですか。

イベントでは女性専用レーンを設けて所持品検査を行うことも多いので、女性警備員のほうが確かめやすいですから、もっともっと女性を増やしたいと思っています。現在は10名前後が商業施設の現場で活躍しています。

雇用の面で重視していることはありますか。

年齢含めて平等に考えています。幸いなことに現場がいくつもありますから適材適所を重視しています。新しい仕事で学んでいこうという姿勢があれば、年齢面では甲乙付けがたいところです。

適材適所の判断はどのようにされているのですか。

仕事をやってみてという部分は大きいと思います。松本さんの場合も、いろいろな現場で働いていたのですが、立ち居振る舞いや勤務態度が非常に優れているので契約先に推薦し、当社のフラッグシップの物件についていただきました。

シニアの方の強みはどんなところにあると思いますか。

例えば、人間関係がこじれた場合に和解のチャンスを作ってくれるような、人間的な懐の深さがあるような気がします。

東京しごとセンターと講習会にはどのようなイメージをお持ちですか。

もっともっと知ってもらっていいのではないのでしょうか。講習は、非常に素晴らしいと思います。自信を持って新たな人生をスタートできる、いいきっかけになっていると思います。

松本さんをご覧になって、前職とのギャップを感じますか。

感じません。とても謙虚ですし、再就職がうまくはまっているようです。長く続けていただき、公私共々、後輩へのアドバイスや指導、相談などにも乗っていただければと願っています。

警備員は、体力があつたり格闘技の経験者が有利だという印象があるのですが。

これは多くの人が勘違いしています。不審者を見つけて取っ組み合いする事はまずないんです。身長、髪

株式会社 トスネット首都圏
〒136-0071
東京都江東区亀戸1-32-8 林ビル2F



型、体型、人数、どの方向へ歩いて行ったか、車に乗ったかどうか、という情報のほうがよほど貴重なんです。研修ではそういうことを教えています。また、警察・消防の法律的、専門的な研修を通じて、自分ほこれだけ勉強してきたプロなんだという、確かな自信と意識を持っていただけるよう心がけています。

警備業界はどのような方が向いているのでしょうか。

というより、来てくださった方々の素質を伸ばし、適した勤務先を見つけて差しあげられるかどうかが我々の責任だと思っています。

就職を希望するシニアの方は、どのような気持ちで取り組んだらいいでしょうか。

まずはノックしてみることです。考え込んだり、悩んでいるよりは、動いてみることだと思います。

シニアの方の雇用を考えている事業主の方へアドバイスはありますか。

可能であれば一緒に働いてみてから適材適所を考えてもいいと思います。55歳、60歳はまだまだ若いんです。どこかに働ける場所があるのではないかと。そう考えれば貴重な人材は集まるのではないのでしょうか。

